

会報

# みこじだこ



## 謹賀新年

旧東海道品川宿周辺まちづくり協議会  
〒140-0001 品川区北品川2-28-19 TEL.03-3472-4772  
URL<http://www.japan-city.com/sina/>  
ブログ<http://shukubashi.exblog.jp/>  
Eメール [machikyo@west.cts.ne.jp](mailto:machikyo@west.cts.ne.jp)



### <まちづくりが新しい時代を迎えます>

会員の皆様におかれましては、お健やかに新春をお迎えることと心よりお慶び申し上げます。

さて私どもも、品川宿周辺のまちづくりに取り組んで昨年、早20年を迎えました。本当にあっという間の20年だったというのが実感ですが、これまで曲がりなりにも活動をつづけてこられたのは、やはり地域の皆様、会員、そして品川区の皆様のご理解とご協力があったからこそ、感謝の心を新たにしているところです。

そして今年は新春早々、嬉しいご報告をすることができます。それは、品川区のご厚意によりようやく、私たちのまちづくり活動の拠点「品川宿交流館」（北品川2丁目28-19）を確保することができたことです。これは私たちにとっては大変に画期的な出来事で、このことによってまちづくり活動が新たな時代を迎えることを強く実感しています。

運営委員会ですでに、この交流館を活動の拠点にした、いくつもの事業計画が大変熱心に協議されています。このような協議会の意欲的な雰囲気は久しぶりのことで、これからの展開を想像すると期待に胸がふくらみ、本当にワクワクするような思いで開館を迎えようとしています。

### <品川宿交流館で、3つの場づくりを進めます>

今後の具体的な事業計画につきましては、また皆様に、改めてご説明する場を設定いたしますが、この「品川宿交流館」では基本的に、次の3つの場づくりを進めたいと考えています。

- 1.このまちに散策や観光で訪れる方々、このまちの周辺で働いている方々、そしてこのまちに移り住んでくる方々が、地域の人々と交流できる場。
- 2.品川宿の周辺で様々な地域活動や、まちづくり活動に取り組んでいる人々が、それぞれ交流し合い、情報交換ができる場。
- 3.次代を担う子どもたちや、このまちと新しい関わりを持つようとする人たちが、品川宿の歴史や文化に触れ、楽しみ理解を深める場。

このような3つの場づくりを進めることで、人々の新しい交流、友好が生まれ、そしてこのまちに新しい活力の芽が根付くものと確信しています。

### <新しい態勢で運営を進めます>

「品川宿交流館」は、火曜日から日曜日まで開館し、月曜日を休館、新年は2日から東海七福神めぐりのお客様をお迎えします。また館の運営には、専任の事務局員を中心として、会員、ボランティア、アルバイトがサポートにあたります。これまで事務局態勢の強化が、私たちの課題のひとつとされてきましたが、交流館の開館を機に、念願の専任事務局員を置くことができ、その面でも会の運営、活動を一層ステップアップすることができるものと期待しています。

しかし改めて申し上げるまでもなく、協議会の活動は、とりわけ地域の皆様のご協力なくしては成り立ちません。どうぞ今後とも絶大なるご支援を賜りますようお願いいたします。

最後になりましたが、「品川宿交流館」の開館にあたりましては、地域の皆様、品川区の皆様、そして改築工事に並々ならぬ意欲と力量を発揮して下さった、工事関係者の皆様の多大なるご尽力をいただきました。ここに改めて心より厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

会長 堀江新三



## <協議会の今春の予定>

「品川宿交流館」開館 1月2日  
 「品川宿交流館」開館記念式典 1月8日  
 「賀詞交換会」及び「20周年記念式典」 2月上旬を予定。  
 なお、「品川宿交流館」の整備に伴い現在、東京都の「江戸東京・まちなみ情緒の再生」事業として、東横駅東側の修景、南側路地の石畳整備を同時に進めており、これらの工事が2月上旬に完成の予定です。この整備が竣工しますと、東海道の石畳、新しい街路灯とも相まって、品川宿らしい歴史性が感じられるまち並みが完成します。どうぞお楽しみに。

事務局

## 「品川宿交流館」 平成21年1月2日、開館！

施設名称：品川宿交流館  
 開館日：月曜を除く毎日 AM10～PM5 年末元日は閉館  
 住所：東京都品川区北品川2丁目28-19 〒140-0001  
 電話：3472-4772

### <館内のご紹介>

- 1階：本宿お休み処（無料休憩所、観光情報センター）
- 2階：展示室＋事務室
- 3階：貸事務所（予定）
- 4階：まちづくり活動センター＋貸会議室／小ホール

### <各フロアのご紹介>

- 1階：本宿お休み処
  - ・受付、観光情報カウンター：観光情報の提供、まち歩きマップ、絵はがきなどの販売。
  - ・無料休憩所：品川歴史館が所蔵する浮世絵をお客様が自由に検索し、鑑賞できるモニターを設置。
  - ・ミニギャラリー：写真、絵画、手芸などの作品展への貸し出し（有料）。
  - ・品川歴史館で制作する絵はがき、複製浮世絵、品川宿の歴史資料などを販売する。
- 2階：品川宿の展示室。（一部、運営事務室）
  - ・品川宿の歴史、文化を紹介、地域の子どもたちをはじめ多くの人々に楽しんでいただく。
  - ・オープニング企画展：「有坂と太郎と東海七福神」
- 3階：貸事務所（予定）
  - ・品川宿の立地条件を活かし、これまで交流のある東海道53次宿駅会議、薩摩熱闘会議、ジュネーブ市などのネットワークを活かし、テナントを募る。
- 4階：まちづくり協議会活動拠点／貸会議室／小ホール
  - ・地域活動に取り組む各種団体との情報交換、交流の場。
  - ・教室、稽古場、講演会場、会議室などに有料でレンタル。
  - ・独自企画として、パソコン教室を核とした地域活動グループ「シニアネット品川（仮称）」、品川宿の昔話を聞く「品川宿の夕べ」、先達事例から学ぶ「まちづくり懇談会」。このまちの成り立ちを知る「品川宿歴史講座」、さらに「デジタル写真教室」などを計画中。

## 「おみやげ企画」大作戦

### ♪「せびあ色の写真館」スピニング企画！

9月27日と28日に恒例の品川宿まつりが行われることになり協議会の中でもさまざまな企画が練られました。その中に、江戸風俗行列に参加した時代装束の人向けに記念写真を撮影し販売する「せびあ色の写真館」（佐山さん担当）という企画がありました。お見合い写真の簡易版みたいなもので、完成した写真は大変立派なものでした。

そこで撮影した写真を活用して何かもうひとつの企画ができないかということになり、宿場まつり限定のお菓子の詰め合わせセットができました。

### ♪品川宿まつり限定詰め合わせセット！



商品は木村家さん（品川餅）とあきおさん（品川巻）に協力してもらいました。箱、包装紙、のしの印刷代なども含めて1200円！前宣伝など何もありませんでしたが、買っていただいた方には大変好評でした。

お手伝いいただいたみなさま方、お世話になりました。  
（ベコリ 佐々木）

## KAGOSHIMA熱闘会議 20周年記念式典に出席

9月6日、馬場に通われて羽田を発った。桜島で待っていたのは彼女ではなく熱い人達。  
 熱闘会議は江戸開府400年祭で甲冑行列を披露して以来、3年前には「さつま品川塾」を発足、「交流会IN品川」、「品川の味と本格焼酎の会」、「薩摩酒ずし祭りIN東京」など積極的に品川との交流を図って来た。彼らに言わせれば品川と鹿児島の間通点は「偉大なる田舎者」らしい。

式典は1500開始。壇上に入った我らが幹事会長の祝辞は「私は薩摩が嫌いでした！」。200名近く入った会場はシーンと静まるが、若い頃好きだった彼女を「薩摩の男に持っていかれた。」と大爆笑。私たち6人は鼻高々。拍手！

1800からは薩摩江湾を見下ろしながらのガーデンパーティ。有名な白濁酒の太刀磨古から始まり太鼓ありバンドあり踊りありで大盛況。お祝いにお送りした「品川蕎麦酒」もみんなに喜ばれた。締めくくりは鳥羽での総踊り。一緒に行った仲間の普段見られない顔（写真）も拝見でき大変有意義な旅でした。

（長谷山）

夕暮れのガーデンパーティ。絶景！



祝辞を述べる鈴木さん、喝采！



さすがはダンスの先生。プロ！



踊る森ビル。??

## 「景観まちづくり会議」の開催

平成16年に国の景観三法が制定され、18年から始まった品川区の施策により、旧東海道地域の景観再生の検討が進んできました。3年目の平成20年度に入って6月、区から直接、地域住民に「景観まちづくり」についての説明会が開催されました。今後旧東海道周辺地域の景観まちづくりのルール（景観法に基づく景観計画）を定めていくにあたり、その考えの骨子の説明があり、出席者と質疑が交わされました。8月には北品川、南品川に居住する成人男女の区民から、アンケートによる「旧東海道の景観に対する意識調査」も行われました。

10月に入ると広報「しながわ」10月21日号で「品川区景観計画（基本的な考え方）」について意見を求める記事が掲載されました。

この間にも景観条例制定のための基礎調査、及び専門家会議が行われるなど、景観づくりの普及・啓発活動が広く展開されました。

このような一連の品川区による公聴活動に出席して感じることは、行政による条例制定のための単なるステップではなく、繰り返し住民の中に入って、具体的な問題に取り組みに行く活動こそ必要なのではないかと考えています。

（新実）

## 情報発信プロジェクト ～東海道五十七次ユビキタス計画～

現在、旧東海道品川宿周辺エリアの街路灯からまちの情報を発信しており、平成20年9月27日（土）、28日（日）に行われた「しながわ宿場まつり」では商店街の皆さまをはじめと多くの方々にご協力いただき、街路灯プレートやまちの各所に掲示したポスター等から富くじ大抽選会の結果を速報で配信しました。

当日の反響はもとより、翌日以降もじわじわとアクセスがあり、おかげさまで皆様に貢献できたようです。  
 今後の情報発信プロジェクトにおけるユビキタス計画の活動は、みこしだこ31号で発表しました。情報発信プレートの設置エリアの拡大や、東京海洋大学との連携による、よりニーズを追求した情報発信の研究開発を進めています。

現在、まちづくり協議会では景観を重視した自動販売機の設置計画を進めておりますが、自動販売機の広告スペースに、従来のユビキタス計画と互換性を持った情報発信パネルを設置します。

この自動販売機を東海道五十七次の各宿場に設置することにより、全宿場が互換性を持った情報発信の仕組みを持つことになり、さらなるユビキタス計画の拡大が実現します。

（小島）



## 大磯、三島両宿場まつりも大成功！

恒例のしながわ宿場まつりに毎年、大磯、三島の皆さんが応援に駆けつけてくださる関係から、11月2～3の連休には、そのお返しに例年、両宿場の宿場まつりに参加している。

両宿とも 恒例となっている品川の海苔を持参。大磯には総勢12名と他宿の出店が2～4名なのに比べ、品川の人員は出色。大磯では青混（あおまぜ）という海苔がなぜか人気があってリピーターが多く、この日を持っていたよとうれしい言葉に全員ハッスル。天気も最高、売り上げも最高、とまでは行かないものまざるの出来。

3日の三島宿には大磯組の1名が帰京したが、4名の助っ人が駆けつけ、総勢16名に。あまりのスタッフの多さに地元の方々も目を丸くしており、参加者には名物のうなぎ弁当が用意されるところだが、全員には無理。8個で勘弁してよと泣きが入るほど。また隣の出店者、地元の金物屋さんからはスタッフのトレードの話も飛び出し、結局3名をトレード。開店準備中にはポツポツと雨が降り出し、一番心配していた事態に。それでも開店後には曇りながらも何とか持ちこたえてくれた。三島の方々も品川の海苔を待っていたよと、年々リピーターが増えており、4時終了時までに完売。地元の方々にも喜んでいただき、また来年と、大磯、三島両宿場まつりも大成功！ 7名が名物うなぎ弁当にあっつけなかったのが一番の失敗か？

(鈴木)

## 第21回 東海道シンポジウム 岡部宿大会

平成20年9月13日(土)、14日(日)の2日間、東海道21番目の宿場町「岡部宿」にて「第21回 東海道シンポジウム 岡部宿大会」が開催されました。

シンポジウムの会場となった静岡県の志太郡岡部町は静岡市と藤枝市の間にあり来年の1月には藤枝市へと合併となる予定となっています。合併前に何となくでもシンポジウムを岡部町でという熱心な働きかけにより21回目のシンポジウムが岡部宿で開かれる運びとなったそうです。当日は変わりゆく町に天が別れの涙を流したかのような雨模様でしたが、集まった人々の熱気のためか、夜には雨雲は去っていました。

会場では開会の挨拶、東海道検定認定証の授与、基調講演など順を追ってプログラムが進んでいきました。

続くパネルディスカッションでは、見附宿が司会を務め、保土ヶ谷宿、岡部宿、鳴海宿、枚方宿の4宿の代表がそれぞれのまちづくりに関して熱く語り合っていました。また夜に行われた宿場交流会でも各宿のメンバーの濃い交流が行われていました。

東海道は時を経るにつれて、今度の岡部宿のように市町村の合併で地名が変わるなど変化していきますが、まちづくりにかかわる人々の変わらない熱い心があれば、これからも各宿の心を次代に継いで行くことができるのだと、このシンポジウムに参加したことで実感しました。

(長谷)



## 第18回しながわ宿場まつり

今年も第18回しながわ宿場まつりが9月27日、28日の両日に行われました。2日間ともお天気に恵まれ、昨年の数倍の人数がありました。

27日土曜日は聖蹟公園を中心に特設舞台で城南中、品川女子学院のバンドが6グループ以上が出演され、学校の生徒、先生方、父兄の方も多数来られ、人出がかなりありました。夕方からは、昔のジャガーズのメンバーで、ベンチャーズが来日すると一緒に演奏を行っているメンバーもきて充実した内容でした。

日曜日は恒例の品川寺の山伏を先頭に、警察の1日署長で今年はいいと少女隊」に出ていて、ピヨンセの物真似をされている方2人組み。品川女子学院のプラスバンド、人力車、江戸風俗町人行列と続き、今年は区長さんも昨年の暴れん坊將軍からおなじみの水戸黄門になられ、通りから拍手喝采をあげていました。(やはり水戸黄門にしてよかったなあ！)

品川橋では鎧を着た鉄砲隊が、小銃とは思えない大きな音で試射をされ、観客の拍手を浴びていました。

南でははじめての試みで、城南小学校で宿場寄席が行われ、人気をくしていました。

パレードは品川寺まで行われ、境内では恒例の火渡り荒行も行われました。ホテル村も大盛況で午後には売り切れ続出、マグロの解体、鉄火井の即売も大人気でした。

今年初めての出し物は、各近隣の小学生によるカルタ大会、綱引き大会、そして3時半からは大抽選会とぎっしり詰まった宿場まつりで、大きな混乱もなく無事終了しました。

<後記>

今年各学校関係の生徒、先生方も多数来られ益々、地域密着になってきているとの感想を持ちつつ、人出が多く、お客様への案内の徹底、食事、トイレなど反省点も多く見つかった宿場まつりでした。

(川井)